

第4節

平日に家庭で使う時間帯

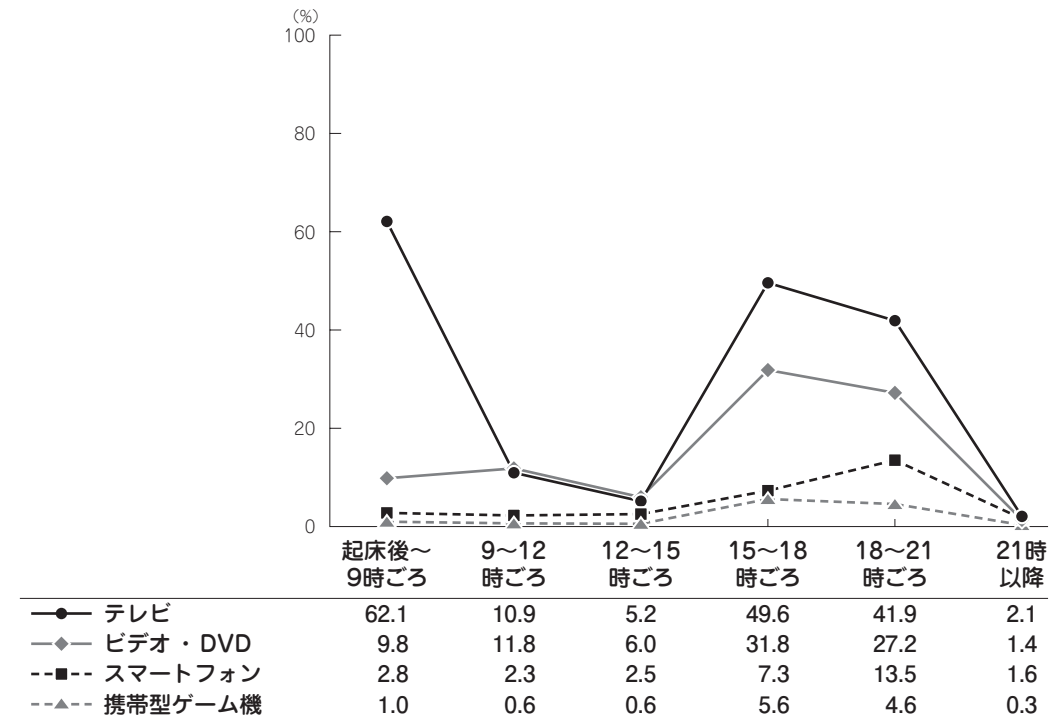
乳幼児の一日の視聴（活用）時間帯は、就園状況によって午後の視聴（活用）時間が異なる。保育園児の視聴（活用）時間帯がもっとも遅い。

●未就園児は、9～12時ごろにテレビやビデオ・DVDをそれぞれ2割がみている

図1-4-1は、「テレビ」「ビデオ・DVD」「スマートフォン」「携帯型ゲーム機」の一日の視聴（活用）時間帯をグラフに表したものである。朝（起床後～9時ごろ）と昼から夜（15～21時ごろ）に2つの山がみられる。「テレビ」は、乳幼児番組の放映時間帯に合わせて視聴が集中している。一方、「ビデオ・DVD」は、視聴割合はテレビよりも低いが、15～21時ごろの時間帯で広範囲に分布している。「スマートフォン」「携帯型ゲーム機」を使う割合は低いが、15時以降に使用している様子が見える。

一日の視聴（活用）時間帯は、子どもの生活スタイルに影響されていると思われるため、就園状況別にみてみよう。図1-4-2は、未就園児の視聴（活用）時間帯である。未就園児では、起床後～9時ごろの「テレビ」の視聴割合が54.4%と高い。9～12時ごろでは、「テレビ」と「ビデオ・DVD」がほぼ同じ2割程度であり、保育園児・幼稚園児と比べると視聴の割合が高い（図1-4-3、1-4-4も参照）。この時間帯は、主要なテレビ局の幼児番組は放映されていないため、録画番組かビデオ・DVD、ケーブルテレビ等の番組を視聴しているのではないと思われる。午後は15～18時ごろの視聴割合が高く、「テレビ」では60.3%である。21時を過ぎるとほぼ視聴（活用）しなくなる。

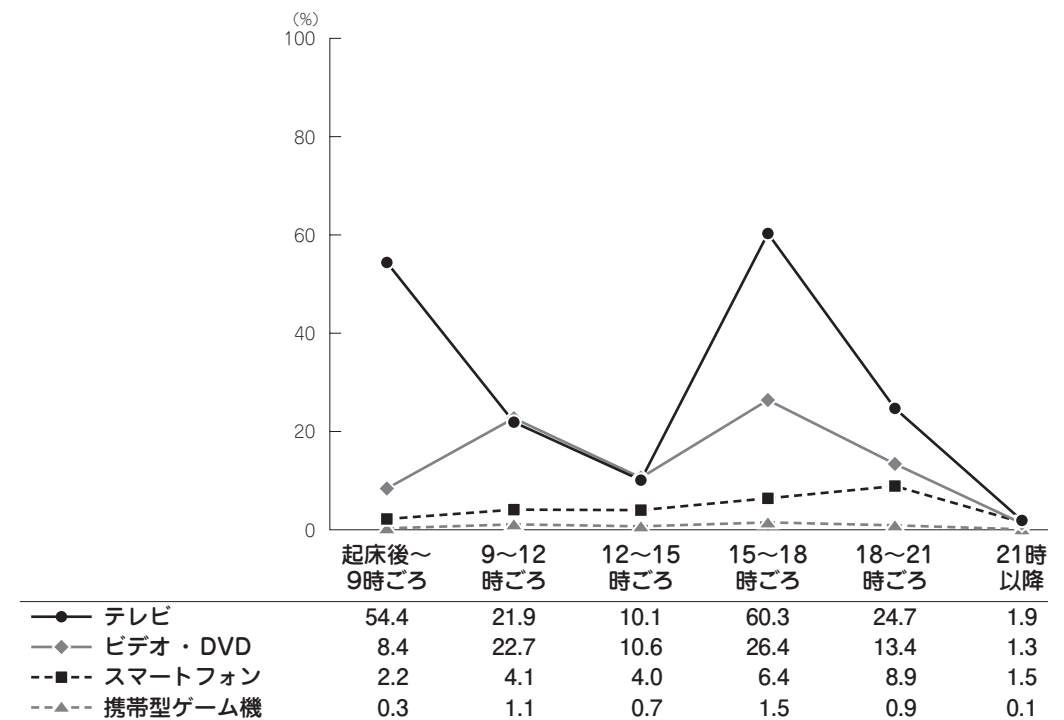
図1-4-1 メディア視聴（活用）時間帯（3234）



注1) 複数回答。

注2) ()内はサンプル数。

図1-4-2 メディア視聴（活用）時間帯・未就園児（1488）



注1) 複数回答。

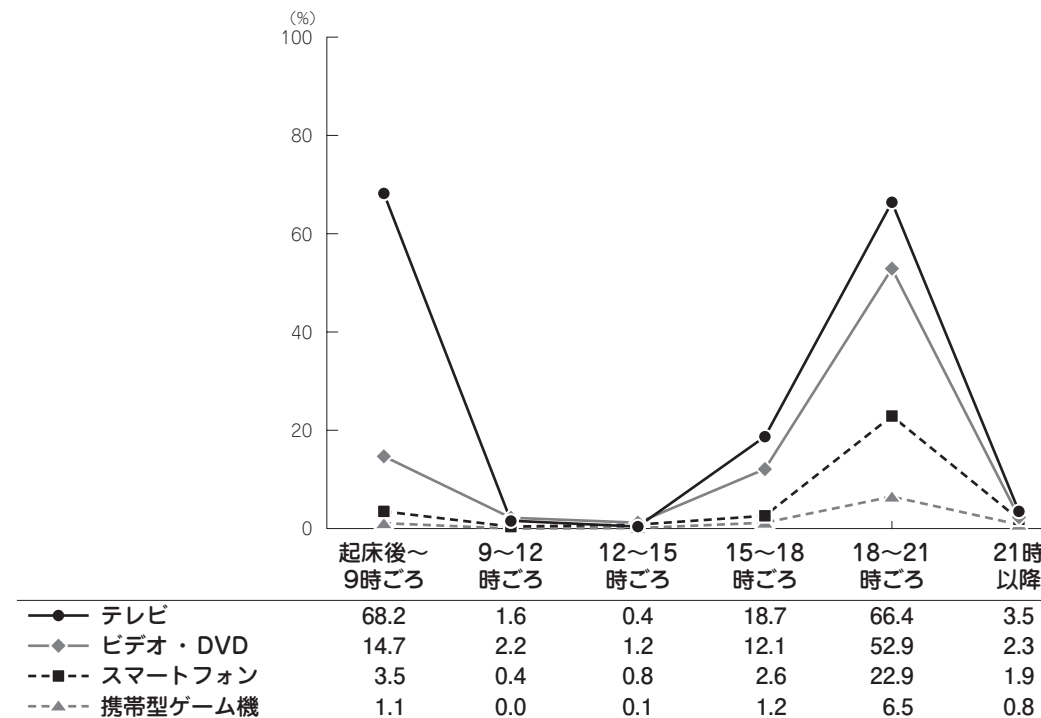
注2) ()内はサンプル数。

一方、保育園児の場合（図1-4-3）、起床後～9時ごろに「テレビ」の視聴が68.2%と高い。9～15時ごろは在園時間にあたるため、ほぼ視聴はみられない。降園後となる15時以降に増え始める。15～18時ごろには、「テレビ」、「ビデオ・DVD」ともに6割弱になる。その後（18～21時ごろ）は「テレビ」の視聴が約5割であるが、「ビデオ・DVD」は26.2%に減少する。「スマートフォン」は15～18時ごろで約13%、「携帯型ゲーム機」は15～18時ごろで16.0%となる。21時以降は、未就園、保育園、幼稚園いずれもすべてのメディアを合計して1割以下の視聴（活用）になっている。

図1-4-4は、幼稚園児の視聴（活用）時間帯である。起床後～9時ごろは保育園児

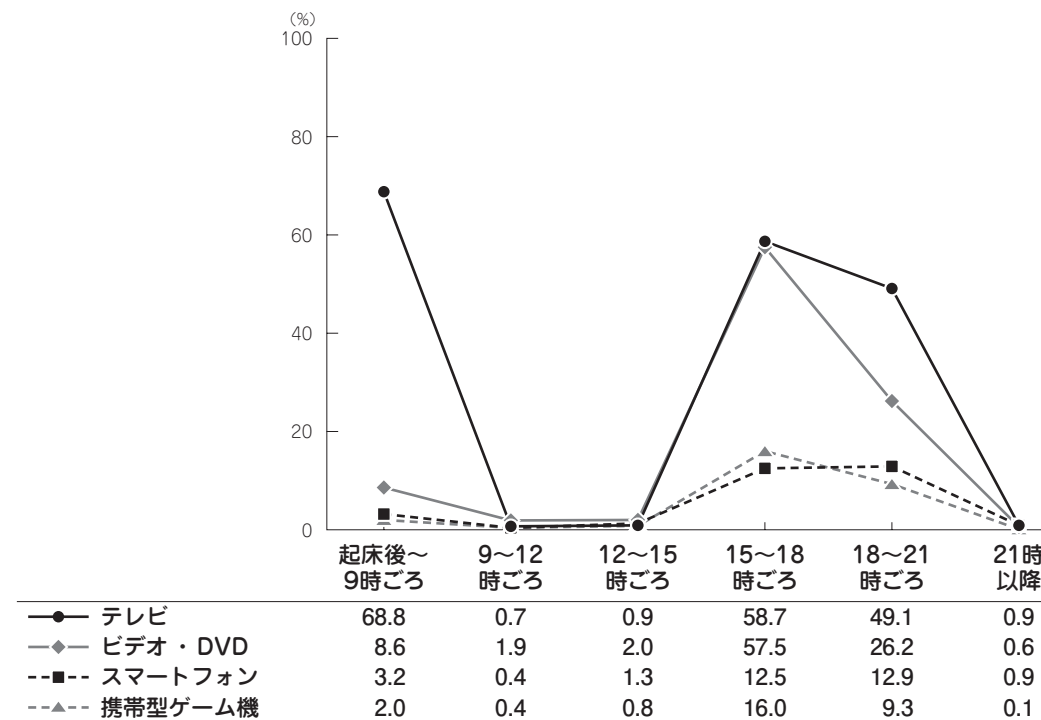
と同様にテレビ視聴は68.8%と高いが、その後9～15時ごろまでは視聴（活用）がほとんどみられない。降園後となる15時以降に増え始める。15～18時ごろには、「テレビ」、「ビデオ・DVD」ともに6割弱になる。その後（18～21時ごろ）は「テレビ」の視聴が約5割であるが、「ビデオ・DVD」は26.2%に減少する。「スマートフォン」は15～18時ごろで約13%、「携帯型ゲーム機」は15～18時ごろで16.0%となる。21時以降は、未就園、保育園、幼稚園いずれもすべてのメディアを合計して1割以下の視聴（活用）になっている。

図1-4-3 メディア視聴（活用）時間帯・保育園児（743）



注1) 複数回答。
注2) ()内はサンプル数。

図1-4-4 メディア視聴（活用）時間帯・幼稚園児（904）



注1) 複数回答。
注2) ()内はサンプル数。